

# 祝町制施行50周年記念 第39回只見町産業文化祭 第14回只見地区JAまつり



▲目黒只見町長ら関係者による「なわカット」

## 農業への回帰

受け継がれる農業を見つめ返し新たな経営戦略で未来へ躍進する農業、これからの農業経営の可能性を探り、現在、町で行われている事業などを紹介し、併せて新規就農者への支援制度の相談も行われた産業文化祭のメインテーマは「農業への回帰」。農業の歴史や魅力が会場内に展示されました。

第39回只見町産業文化祭が11月3日、只見地区センターを会場に開かれ、今回は同会場で第14回JAまつりも行われ、約1000名の来場者で賑わいました。

開会式では産業文化祭実行委員会会長の目黒町長及びJAまつり実行委員会代表の星安博JA会津みなみ代表理事組合長のあいさつがあり、次にJAまつり農産物品評会の表彰が行われ、トマトで只見町長賞を受賞された菅家絹恵さん(黒谷)らに賞状や記念品が贈られました。続いて渡部勝博福島県議会議員が祝辞を述べた後、テープに変わる手よりのなわによる、なわカットが行われ、来場者が次々に入館しました。

入るとすぐのメイン展示館では新規就農者支援制度や農家民泊事業の紹介、企業の農業参入事例として、そばやわさび栽培などの紹介がされ、来場者は興味深そうに内容を確認されていました。また、新規就農相談コーナーも設置され、農業経営を希望される方などが相談に訪れていました。他にも農業に係るコーナーとして農機具の歴史館や米粉の特徴を紹介し米粉を使用した試食品の提供を行なった米粉コーナーなども設けられました。

館内では、様々な催しも行われ、ただみ民話茶屋では只見町昔ばなしの会の皆さんによる民話の語りと小学生の発表があり、方言による巧みな話術に引き寄せられ、部屋に入りきれないほどの人気コーナーでした。また、手工芸館では、手芸の体験ができ新聞で作るエコバックに小学生などがチャレンジしていました。さらに、絵画や書、写真などが展示された町民芸術館をはじめ、町民文芸館、菊花・盆栽・山野草展示館、民芸品館などには卓越された技術が結集した力作が揃い、来場者の目を引いていました。

センター前広場で同時開催された、JAまつりでは特設ステージで紅白もちまきやジャンケンゲーム、ビンゴ、もちつき大会などが行われたほか、青空市場や物産販売コーナーも設置され、どのイベントにも大勢の来場者が詰め掛け、楽しい一日を過ごしていました。

また、青少年旅行村・いこいの森では、協賛イベントの炭焼き体験などが行われました。

この産業文化祭を通し、農業の新たな経営方策の推進、支援、構築がバランスよく進展し、只見町の農業振興が将来に向け、さらに躍進することを願いたいと思います。

# 祝町制施行50周年記念

## 第39回只見町産業文化祭 第14回只見地区JAまつり



### 産業文化祭

- ① 農機具の歴史館
- ② ただみ民話茶屋
- ③ 米粉コーナーでの試食



### JAまつり

- ① とれたて只見の野菜を販売「青空市場」
- ② 農林産物品評会
- ③ もちつき大会での無料サービス

